

基本計画素案(1・2章)に対する委員意見への対応

章	項(施策分野)	委員意見		担当課
		検討を要する意見	対応	
1. 産業経済の振興 (産業、観光)	1. 農林業の活性化 (農林業)	遊休農地の活用・集積については、どの施策に位置付けられているか。	施策1「農業の担い手の育成・確保」において、農業後継者、新規就農者を支援し、農業の担い手の育成・確保を図ることとしており、その中で遊休農地の減少(活用)・集積を目指します。また、施策2「魅力的な農産物の生産振興と販売力の強化」において、低コスト化の推進に努めることとしており、その中で農地の集積による作業効率の向上に努めることとしております。	農業振興課
	6. 観光の振興 (観光)	定量的な観光客の動向を把握するため、SNSの「いいね」の数やMAYUの乗車数を指標に設定できないか。	SNSの「いいね」の数を指標とすることは、各施設が市内で行われているイベント情報等を積極的に収集、発信したことを示す指標となり、観光拠点施設の機能拡充にも繋がるため、桐生観光協会ホームページのアクセス数とともに、同協会が発信するフェイスブックの「いいね」の年間総数を指標に追加いたします。なお、「MAYU」については、毎年、設定した運行コースの本数によって乗車人数が大きく変動し、また、利用者の利便性向上のため運行コースを随時変更していく予定もあることから、乗車人数を目標指標とすることは困難であると考えます。	観光交流課
		イベントごとの集客数を把握し、それを指標にできないか。(群大理工学部の画像処理技術で調査可能)	イベントの集客人数は、日程や天候に大きく左右されるため、特定のイベントを目標指標とすることは困難と考えます。なお、主要なイベントについては、「観光客入込客調査」の対象となっており、主催者に集客人数を確認し、群馬県に報告しています。	
2. 健康・福祉の増進 (健康、医療、福祉)	1. 子ども・子育て支援の充実 (子ども・子育て支援)	「育児が楽しいと思える母親の割合」の表現は適切なのか。	現在、核家族化する中で母親ひとりでの子育てなどによる「産後うつ」といった問題があり、現実として育児が楽しいと思えない状況が発生していることから、各種支援をすることでその数を減らし、育児が楽しいと思える母親が増えるよう取り組んでいきたいので、この表現を用いています。	健康づくり課
		男性トイレにも、赤ちゃんの椅子を設置してほしい。また、指標にも設定してほしい。	施設ごとに利用者の年齢層が異なることから目標指標を設定することは難しいですが、ご意見については、利用者のニーズを踏まえ、今後進めていけるよう考慮します。	子育て支援課
	3. 障がい者福祉の向上 (障がい者福祉)	「地域生活支援事業の利用状況」の目標指標について、数字は正しいか。	2017年実績(基準値)3,933は誤りで、正しくは6,933。 2020年の目標値3,029は誤りで、正しくは8,029。 2022年の目標値3,479は誤りで、正しくは8,479。	福祉課
	5. 生活支援・社会保障の充実 (生活支援・社会保障)	子どもの居場所づくりについて、「重点(総合戦略)」又は「重点」とすることを検討してほしい。	地方創生・人口減少対策に特化した「総合戦略」の「重点(戦略)」施策としては馴染まないものと考えます。	企画課
		本件については「重点」としての位置付けを見送りたいと考えますが、「子どもの居場所づくり」は保健福祉部だけでなく教育委員会などとの連携により推進していかねばならない重要な施策であると認識しています。	福祉課	